

議案第11号

小松市奨学金貸与要綱の制定について

小松市奨学金貸与要綱を次のように制定する。

小松市奨学金貸与要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、小松市奨学金貸与条例（令和3年小松市条例第67号。以下「条例」という。）及び小松市奨学金貸与条例施行規則（令和3年教育委員会規則第8号。以下「規則」という。）第17条の規定に基づき、奨学金の貸与について必要な事項を定めるものとする。

(選考の方法及び基準)

第2条 条例第3条の小松市奨学金貸与審査委員会（以下「審査委員会」という。は、選考基準に基づいて審議を行い、条例第2条各号のいずれにも該当する者で奨学金の貸与を適当と認める者の氏名を文書で小松市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に答申するものとする。

2 前項の選考基準は、審査委員会の諮問を経て、教育委員会が別に定める。

(審査委員会の招集)

第3条 審査委員会は、必要に応じ教育委員会が招集する。

(委員長及び副委員長)

第4条 審査委員会に委員（規則第5条第2項に規定する委員をいう。以下同じ。）の互選により、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、審査委員会の議長となり会務を処理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審査委員会は、半数以上の委員が出席しなければ審査委員会を開くことができない。

2 審査委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

議案第12号

令和4年度小松市奨学金貸与奨学生について

次のとおり議決を求める。

記

学校名	人数
愛知学院大学	1名
金沢学院大学	1名
静岡県立大学	1名
計	3名

小松市奨学金貸与審査委員会：令和4年5月31日（火） 午後6時30分

## 寄附受納について

様々な理由で生理用品の購入が困難な女子児童，生徒への支援のため次のとおり寄附がありました。

1. 寄附者 小松市校下女性協議会
2. 寄附物品 生理用品（14,256枚，20万円相当）
3. 受納日時 令和4年5月24日（火）13:30～14:00  
教育長室

## こまつ市民大学第5期事業計画について

子どもから大人まで一貫したはつらつとした生涯学習環境のさらなる充実を目指し、世代や立場、組織を超えて、地域で活躍する人材育成拠点(学びの場)として、こまつ市民大学第5期を開講する。

1. **実施主体** こまつ市民大学運営委員会（公立小松大学、小松商工会議所、小松市まちづくり市民財団、小松市社会福祉協議会、小松市で運営）
2. **開講期間** 令和4年9月～令和5年8月
3. **講座内容** 26講座（一覧のとおり）
4. **受講料等** 登録料：1,000円、受講料：2,000円～8,000円

### 5. 開講までの日程

- 6月2日 こまつ市民大学運営委員会開催
- 6月下旬 受講生募集開始  
パンフレットの設置、広報こまつ・小松市 HP へ募集案内掲載
- 7月31日 募集締切
- 8月上旬 受講決定通知発送  
※定員に余裕のある講座は募集締切後も随時募集
- 9月4日 第5期開講

### 6. 修了制度・称号制度

修了制度：5分の4以上の出席及び、試験（小テスト）に合格した人に、修了証を交付、単位を認定する

称号制度：所定の単位数取得者に称号を授与（表彰状・記念品を贈呈）

- ・10単位 チャレンジャー
- ・15単位 マイスター
- ・20単位 レジェンド

### 7. ジュニアコースの創設

趣旨：大学教員や専門家等を講師に、実社会の情報・体験を通して豊かな学びを提供することで、子どもたちの視野を広げ、将来の夢を育む。

対象：小学校5年生～中学校3年生

講座：子ども司書養成講座（小松市立図書館司書）

（仮）航空業界を聞いて見て学ぶ（日本航空（株）客室乗務員他）

（仮）南極・昭和基地での体験を通して（公立小松大学 香川教授）

No	講座名・講師	定員 (人)	回数 (回)	受講料 (円)
1	こまつの日本遺産 講師：小松市交流推進部 次席専門官 望月精司 他	20	6	3,500
2	小松九谷の魅力を探る 講師：宮吉製陶 代表 宮吉勝茂 他	15	5	5,000
3	世界の都市を歩く 講師：公立小松大学 講師 西島薫 他	30	5	3,000
4	「多様性」はなぜ大切かー自然・文化の多様性から考えるー 講師：公立小松大学 准教授 朝倉由希	30	4	2,500
5	旅がもっと楽しくなる！ー食と観光のはなしー 講師：公立小松大学 教授 中子富貴子	30	5	3,000
6	図書館エディター養成講座～地域コンテンツの編集・発信を学ぶ～ 講師：慶應義塾大学 講師 太田剛	25	6	3,000
7	公立小松大学学長・副学長特別講座 講師：公立小松大学 副学長 横川善正 他	30	3	2,000
8	初めて学ぶ心の理論 講師：公立小松大学 准教授 木村誠	30	4	2,500
9	映画術ー作家から学ぶ 講師：公立小松大学 教授 小原文衛	30	5	3,000
10	大学教員から聴く！ からだと健康・医療のアレコレ耳より講座 講師：公立小松大学 助教 加藤千夏 他	30	5	3,000
11	お口の健康、幸せ長寿 講座 講師：山本歯科クリニック 院長 山本一普 他	20	3	2,500
12	注目が集まる新技術 講師：公立小松大学 副学長 木村繁男 他	20	4	2,500
13	「持続可能」な職場を作る働き方講座【損害保険ジャパン(株)寄附講座】 講師：損害保険ジャパン(株) 職員	20	3	2,000
14	松下幸之助氏、稲盛和夫氏から学ぶ「生き方」「働き方」「未来に向けた取組み」【三井住友海上火災保険(株)・コマニー(株)寄附講座】 講師：奥 健一郎	50	5	3,000
15	名称未定【大塚製薬との連携講座】 講師：未定	未定	未定	未定
16	世界遺産検定チャレンジ講座 講師：公立小松大学 教授 杓谷茂樹	30	11	7,000
17	ビジネス・時事英語読解力講座 講師：公立小松大学 准教授 島内俊彦	30	10	7,000
18	こまつ創業塾【小松商工会議所タイアップ】 講師：ピースバンクいしかわ 他	20	4	5,500
19	外国人に教える日本語教室【小松市国際交流協会タイアップ】 講師：小松市国際交流協会 グラッシ徳子	20	5	3,000
20	大人のためのものづくり教室ーステンドグラス・レベル1ー 講師：サイエンスヒルズこまつ サイエンスコーディネーター	8	8	5,000
21	大人のためのものづくり教室ーステンドグラス・レベル2ー 講師：サイエンスヒルズこまつ サイエンスコーディネーター	8	9	7,000
22	大人のためのものづくり教室ーステンドグラス・レベル3ー 講師：サイエンスヒルズこまつ サイエンスコーディネーター	8	12	8,000
23	大人のためのものづくり教室ー初心者向けバーナーワークー 講師：サイエンスヒルズこまつ サイエンスコーディネーター	8	8	7,000
24	星空から始める天文学教室（金曜日コース） 講師：サイエンスヒルズこまつ サイエンスコーディネーター	60	5	3,000
25	星空から始める天文学教室（土曜日コース） 講師：サイエンスヒルズこまつ サイエンスコーディネーター	60	5	3,000
26	大人のためのサイエンスサロン 講師：サイエンスヒルズこまつ 科学教育専門員	20	11	6,500

## 未来型図書館基本構想策定支援業務プロポーザルの実施結果について

令和4年度に未来型図書館のビジョン及び基本方針を示す「未来型図書館基本構想」の策定支援業務について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、審査を行った結果、下記のとおり受託候補者を特定したものの。

1. 業務名 小松市未来型図書館基本構想策定支援業務
2. 公募期間 令和4年4月4日から5月16日
3. 参加者名（参加表明書提出順）
  - ・株式会社ブレインファーム
  - ・アカデミック・リソース・ガイド株式会社
  - ・株式会社未来の図書館研究所
  - ・カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
  - ・計画情報研究所・乃村工藝社共同企業体
  - ・小松市未来型図書館基本構想策定支援業務アルスコンサルタンツ・オリエンタルコンサルタンツ基本構想策定共同体
4. 特定された受託候補者  
 名称：アカデミック・リソース・ガイド株式会社  
 所在地：神奈川県横浜市
5. 業務期間 今後、受託候補者と契約締結、業務計画書提出を受け業務実施。  
 業務期間は、契約締結日から令和5年3月31日まで。

### 6. 審査結果

小松市未来型図書館基本構想策定支援業務プロポーザル審査会を設置し審査を行った。

#### (1) プロポーザル審査会委員名簿（順不同、敬称略）

役職	氏名	所属等
委員長	西村 聡	公立小松大学附属図書館長
副委員長	林 政 憲	小松市教育委員会事務局教育次長
委員	久保 由味子	小松市校下女性協議会会長
委員	道 券 悠 一	公益財団法人小松青年会議所理事長
委員	山 本 ゆかり	小松市交流推進部長

## (2) 一次審査（書類審査）

参加資格を満たすと判断された事業者が6者以上であったため、企画提案書等による一次審査（書類審査）を行い、評価得点の合計点の高い順に上位5事業者を二次審査の対象として選定した。第2位から第4位は、評価得点の合計点が同点となったため、第1位の順位獲得数の多い順に順位を決定した。

開催日 令和4年5月20日

審査結果 次のとおり

審査項目 (配点)	A社	B社	C社	D社	E社	F社
業務実績・実施体制 (20点×5人)	42.50	85.00	70.00	76.25	63.75	62.50
企画提案 (60点×5人)	175.00	197.50	245.00	203.75	165.00	215.00
価格評価 (10点×5人)	30.00	27.50	30.00	30.00	27.50	32.50
合計 (90点×5人)	247.50	310.00	345.00	310.00	256.25	310.00
第1位獲得数	0	2	2	0	0	1
順位	第6位	第2位	第1位	第4位	第5位	第3位

※一次審査は、審査項目のうち、プレゼンテーションに係る審査項目を除くため、審査委員1人の評価点の計（満点）は90点。

## (3) 二次審査（プレゼンテーション審査）

一次審査を通過した上位5事業者に対して、二次審査（プレゼンテーション審査）を行い、最も多く第1位の順位を獲得した事業者を当該委託の受託候補者として特定した。第2位以下については第1位の順位獲得数、第2位の順位獲得数の順に順位を決定した。

	B社	F社	D社	C社	E社
第1位獲得数	4	1	0	0	0
第2位獲得数	0	1	3	1	0
評価得点の合計点	392.50	367.50	378.75	330.00	300.00
順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位



(評価得点の内訳)

審査項目 (配点)	B社	F社	D社	C社	E社
業務実績・実施体制 (20点×5人)	92.50	65.00	78.75	63.75	60.00
企画提案 (70点×5人)	270.00	270.00	267.50	236.25	210.00
価格評価 (10点×5人)	30.00	32.50	32.50	30.00	30.00
合計 (100点×5人)	392.50	367.50	378.75	330.00	300.00

(4) 受託候補者についての審査委員からの評価

審査項目	主な評価内容
業務実績 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務実績について、図書館関連施設の基本構想策定等実績が豊富である。</li> <li>○統括責任者について、図書館建築に関する経験や図書館の企画に特化した経験が豊富である。</li> <li>○業務実施体制について、デザインやメディア芸術等の実務経験者や司書・博物館学芸員資格所有者等多様なメンバーで構成されている。</li> </ul>
企画提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小松市立図書館の現状と課題について、認識が的確である。</li> <li>○業務実施方針及び留意すべき事項について、「ともにつくる図書館をつくる」理念が強調され、未来型図書館の検討のこれまでの取り組みとのつながり、検証、発見、共有を重視している。共創、持続可能な視点のもと社会が変わりゆく中で柔軟に対応する考え方がよい。</li> <li>○機能・サービス内容の考え方について、人々の知る自由や多様性、まち全体に開かれた施設としている。</li> <li>○市民ワークショップの支援について、ともにつくるワークショップを打ち出し、本（冊子）づくりや手描き地図を作成するというアイデアがよい。参加者が自分事として参加でき、参加していない人も共感できる取り組みである。本づくりは構想策定後も追加していける点がよい。市民とのワークショップの中で創り上げる方策は評価できる。</li> <li>○基本構想策定委員会の支援について、これまでの取り組み、ワークショップとの相互作用やプロセスの共有を図るとしている。</li> <li>○その他自由なアイデアによる提案について、共創のための対話と活動のプラットフォームの形成を掲げている。将来にわたり市民と図書館がつながっていけると感じる。図書館づくりから発展できるのが理想である。</li> <li>○業務工程について、策定委員会やワークショップなどの時期が効果的に設定されている。</li> <li>○プレゼンテーションについて、わかりやすい説明と質問に対する回答が的確である。専門性を強く感じる。</li> </ul>

## 7. 参考（審査基準）

審査項目		評価基準	評価点
業務実績・ 実施体制	業務の実績	公立図書館等の基本構想の策定業務等類似業務を行った実績を評価する。	20
	業務の実施体制	統括責任者及び実務担当者の公立図書館等の基本構想の策定業務等の類似業務の経験、業務履行に向けた適正な人員・業務の実施体制が確保されているか評価する。	
企画提案	業務の実施方針及び留意事項の適正さと提案事項の有用性	未来型図書館のビジョンの作成について、小松市及び小松市立図書館の現状と課題を踏まえた提案となっているか評価する。	70
		未来型図書館の基本方針の作成について、独自の提案や追加の提案がなされているか評価する。	
		市民ワークショップの運営支援について、方法、内容等が妥当であるか評価する。	
		小松市未来型図書館基本構想策定委員会の運営支援について、方法、内容等が妥当であるか評価する。	
		自由なアイデアによる提案の有用性を評価する。	
業務工程の妥当性	業務工程に無理がなく、妥当であるか評価する。		
プレゼンテーション	プレゼンテーションにおいて、業務に取り組む意欲及び、わかりやすく、説得力のある提案であるか評価する。		
価格評価	価格の妥当性	企画提案書と見積内容の整合性が取れており、価格が妥当なものであるか評価する。	10
合 計			100

## 未来型図書館基本構想策定委員会の設置について

未来型図書館基本構想の策定にあたり、有識者等で構成する小松市未来型図書館基本構想策定委員会を設置し、市民の意見を十分に取り入れ、専門的な立場や幅広い視点から審議を行い、意見集約を図っていくもの。

### 1. 基本構想策定委員会委員名簿（順不同、敬称略）

氏名	所属等
平賀 研也	日本大学芸術学部非常勤講師／前県立長野図書館長
西村 聡	公立小松大学附属図書館長
金子 哲也	小松商工会議所青年部会長
久保 由味子	小松市校下女性協議会会長
道券 悠一	公益社団法人小松青年会議所理事長
中村 知恵	小松市国際交流協会会長
山元 加津子	映画監督、作家
尾木沢 響子	小松市空とこども絵本館館長

### 2. 策定委員会の開催予定

令和4年6月28日に第1回策定委員会を開催予定。（年度内に5回程度開催）

### 3. 策定委員会での主な検討内容

#### (1) 未来型図書館のビジョン

少子高齢化社会やスマート社会の到来、市民のライフスタイルや価値観の変化など、未来に予想される社会状況の変化の中で、未来型図書館の実現による、図書館機能の向上や新たな活気とにぎわいの創出、市民生活の利便性向上などの未来像を検討。

#### (2) 未来型図書館の基本方針

##### ア 機能・サービス内容

小松市のまちづくりや都市計画に関する各種計画、公共施設マネジメント計画も踏まえながら、市内全域の図書館サービスのあり方や、市立図書館本館と南部図書館、空とこども絵本館との役割分担、学校図書館との連携などを検討するとともに、市民ワークショップ等をもとに、図書館本来の機能や相乗効果を高める複合的な機能・サービス内容を検討。

イ 立地候補地

立地候補エリアについて、都市機能の向上や交通アクセス、公共施設マネジメントの観点を踏まえ検討。

ウ 蔵書・施設規模

必要とされる蔵書・施設規模の検討。

エ 事業手法・運営体制

P F I 等民間活力を活用した整備・運営手法の可能性の検討をはじめ、構想段階から基本計画・実施計画づくりを通じた継続的な市民参画の仕組みづくり、市民参画による運営、パートナー組織のあり方について検討を行う。

オ 事業推進スケジュール

上記アからエの検討を行う中で、構想策定から開館までの施設整備や運営に係る重要な課題や事業スケジュールを検討。

## 図書館運営を支える人材育成講座の開催について

### 1. 目的

市民とともに創る未来型図書館に向けた取り組みの一環として、図書館の企画運営を支える人材育成講座を開催するとともに、講座終了後は、図書館での実践を通じて活動の輪を広げていくもの。

### 2. 講座の概要

#### (1) 図書館エディター養成講座

小松市の「ヒト・モノ・コト」に目を向け、地域コンテンツの編集・発信方法を学び、図書館の企画運営を支える「図書館エディター」を養成するもの。6ヶ月間にわたり、基礎編集術から本棚構成術、インタビュー術、ブログ術、カメラ術、SNS心得などを通じて、選書から、本棚づくり、イベントの企画、インターネットでの情報発信などを学ぶもの。

○講師：太田 剛 氏（図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター）

○日程：令和4年9月18日～令和5年2月19日

〈座学〉全6回：9/18, 10/30, 11/20, 12/18, 1/22, 2/19（日曜日）

〈編集トレーニング（インターネット）〉座学の間随時開催

○時間：各回13時30分～15時30分（第5回は13時30分～17時）

○会場：ひとつものづくり科学館（わくわくホール）、又は、  
こまつビジネス創造プラザ（セミナールーム）

○定員：25名

○対象：高校生以上

○受講料：3,000円

#### (2) 子ども司書養成講座

図書館や本のことを学び、自分の言葉で読書の楽しさや面白さを伝える「子ども司書」を養成するもの。全5回にわたり、司書の役割やカウンター業務などの仕事、本の紹介の仕方、展示コーナーづくりなどを体験しながら学ぶもの。

○講師：吉成 信夫 氏（ぎふメディアコスモス総合プロデューサー）

小松市立図書館司書

○日程：全5回：9/24, 10/9, 10/22, 10/29, 11/5（土曜日）

○時間：各回9時30分～12時

○会場：小松市立図書館視聴覚室

○定員：20名

○対象：小学4年生～中学3年生

○受講料：1,500円

ブログ術

カメラ術

# 図書館エディター養成講座

## 図書館で地域が変わる、未来を拓く



インタビュー術

地域コンテンツの  
編集・発信を学びます



本はヒト・モノ・コトをつなぐ存在です。あらゆる組み合わせで異なるものを結びつけ、出会いを生むことができる力を持っています。図書館はそうした無限のつながりが生まれる可能性を持った場所です。

小松市では、“市民とともに創る”をモットーに、未来型図書館づくりを進めており、この講座では、**小松市の「ヒト・モノ・コト」**に目を向け、地域コンテンツの編集・発信方法を学び、図書館の企画運営を支える**「図書館エディター」**を養成します。



### 内容

- ✓ 基礎編集術から本棚構成術
- ✓ インタビュー術、ブログ術、カメラ術、SNS心得などを通じて、選書から、本棚づくり、イベントの企画、インターネットでの情報発信などが学べます!

### 講師

編集工学のスペシャリスト!

## 太田 剛 氏



慶應義塾大学講師／編集工学機動隊GEAR代表  
図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター

### 日程等

申込締切：7月31日(日)

日程	【座学】 9/18・10/30・11/20 12/18・1/22・2/19 (全6回) 【編集トレーニング (インターネット)】 座学の間に随時開催
時間	各回 13:30~15:30 (第5回は13:30~17:00)
会場	サイエンスヒルズこまつ
定員	25名 (定員を超えた場合は抽選)
対象	高校生以上
受講料	3,000円

申込み  
問合せ

小松市教育委員会 生涯学習課

☎ 0761-24-8128

✉ seishou@city.komatsu.lg.jp



▲HP・申込



## 講座内容について

- ・原則、全6回の座学全てに参加してください。
- ・会場での座学に加えて、インターネット(メール)を利用した編集トレーニングを随時開催しますで、各自でインターネットの利用環境を整えてください。

6ヶ月間にわたり、基礎編集術から本棚構成術、インタビュー術、ブログ術、カメラ術、SNS心得などを通じて、選書から、本棚づくり、イベントの企画、インターネットでの情報発信などを学びます。

講座の形式は、教室形式の座学(全6回)に加えて、インターネット(メール)を利用した編集トレーニングを随時開催します。

図書館づくりに参加したい方をはじめ、表現力を磨きたい方、まちづくりに関心のある方、地域の中で編集力を活かして活動したい方など、多くの方の参加をお待ちしています。

回	日程	内 容	
第1回	9/18 (日)	基礎編1 (座学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス「図書館エディター養成講座とは？」</li> <li>・編集講座「料理もSNSも編集だ～小松の共同知を編集する」</li> <li>・編集術基礎ワークショップ「たくさんの私、たくさんの小松」</li> </ul>
			編集トレーニングⅠ (インターネット) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2つの編集を使い分ける</li> <li>(2) 3つの”ものさし”</li> <li>(3) &lt;型&gt;にはめる自由&gt;</li> </ol>
第2回	10/30 (日)	基礎編2 (座学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集講座「編集の&lt;型&gt;と物語の&lt;型&gt;」 ～曳山の構造と勧進帳の構造を取り出す</li> <li>・編集術基礎ワークショップ「イメージをマネージする」</li> </ul>
			編集トレーニングⅡ (インターネット) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ネーミング術でイメージを際立たせる</li> <li>(2) 文章の着替え、乗り換え、持ち替え</li> </ol>
第3回	11/20 (日)	基礎編3 (座学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集講座 「4つの編集秘術とインタビュー術」 「ネット上の文章術&lt;ブログ・SNS・アーカイブ&gt;」 「自然に学ぶ・歴史を展く・文化に遊ぶ」</li> <li>・編集術基礎ワークショップ 「思い出の構造化と物語化」</li> </ul>
			編集トレーニングⅢ (インターネット) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) キラキラのあの日をコラムする</li> <li>(2) 自分の「型」を設定してみる</li> </ol>
第4回	12/18 (日)	応用編1 応用編2 (座学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真撮影術「“インスタ映え”の意味と意図を理解」</li> <li>・編集術応用ワークショップ 「語り部の言葉を編集する(インタビュー実践)」 ～小松市の語り部をゲストに招き話を聞く</li> </ul>
			編集トレーニングⅣ (インターネット) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 語り部の話をコラムにしてみる</li> <li>(2) 自分の「型」に磨きをかける</li> </ol>
第5回	1/22 (日)	応用編3 (フィールドワーク・座学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集術応用ワークショップ 「街を歩いて情報を見る・聞く・拾う」 ～小松駅周辺でフィールドワーク</li> </ul>
			編集トレーニングⅤ (インターネット) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) フィールドワークのネタをコラムにしてみる</li> <li>(2) 着脱自由な「型」を獲得する</li> </ol>
第6回	2/19 (日)	応用編4 (座学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス「図書館エディターの道しるべ」</li> <li>・編集術応用ワークショップ「アーカイブへの情報入力」</li> <li>・修了証授与</li> </ul>
			編集トレーニングⅥ (インターネット) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 図書館エディターデビューのためのコラムを書く</li> <li>(2) お互いのデビュー作を語り合う</li> </ol>

## お申込について

下記申込用紙を市生涯学習課に提出いただくか右のHP内の  
申込フォームよりお申込ください。



----- ✂ ----- キリトリ線 ----- ✂ -----

氏名・年齢	氏名:	年齢:	歳
住所	〒		
電話番号			
メールアドレス			

あなたも読書リーダーに!

# 子ども司書養成講座

将来、司書になりたい!

おすすめ本を紹介したい!

みんなとチャレンジ!

本が好き!



..... 広がる、あなたの世界 .....

子ども  
司書って?

図書館のことや本のことを学び、自分の言葉で学校やお家、地域で読書の楽しさや面白さを伝えるために生まれました。

どんなことを学ぶの?

- ✓ 図書館探検
- ✓ 司書のお仕事体験(カウンター業務など)
- ✓ おすすめ本の紹介の仕方
- ✓ 展示コーナーづくり、ポップづくり ほか

講座の最後に認定式も行います!

内 容

申込締切: 7/31 (日)

日 程 全5回 (9/24・10/9・10/22・10/29・11/5)

時 間 9:30~12:00

場 所 小松市立図書館

定 員 20名 (定員を超えたら抽選)

対 象 小学4年生~中学3年生

受講料 1,500円



日程など

特別講師

第1回の  
スペシャルゲスト!

吉成 信夫 さん

みんなの森 ぎふメディアコスモス  
総合プロデューサー



お申込  
お問合せ

小松市教育委員会 生涯学習課

☎ 0761-24-8128

✉ seishou@city.komatsu.lg.jp



▲HP・申込



## 講座内容について

将来、司書として活躍する子どもたちや、図書館づくりに主体的に参画し、次世代の読書リーダーとして地域で活躍する人材の育成を目指します。

回	日程	内 容	講 師
1	9・24 (土)	<b>開講式</b> <b>特別講義 子ども司書について知ろう</b> (子ども司書の役割や活動について学びます) 【体験】本を通じた自己紹介・図書館探検	特別講師 吉成 信夫 氏 みんなの森 ぎふメディアコスモス 総合プロデューサー
2	10・9 (日)	<b>司書の仕事を体験してみよう!</b> 【講義】図書館と司書のお仕事 【体験】カウンター業務・レファレンス・検索	小松市立図書館司書
3	10・22 (土)	<b>本の面白さをみんなに伝えよう!</b> 【講義】本の紹介の仕方 【体験】おはなし会・おすすめの本の紹介	小松市立図書館司書
4	10・29 (土)	<b>魅力的な図書館づくりに挑戦しよう!</b> 【講義】本が読みたくなる雰囲気づくり 【体験】展示コーナーづくり・ポップの作成	小松市立図書館司書
5	11・5 (土)	<b>認定式</b> 【講義】振り返り・今後の活動について	小松市立図書館司書ほか

◎講座終了後は「こまつ子ども司書クラブ(仮称)」を結成し、子どもたちのアイデアなどを活かしながら、図書館を盛り上げていく活動に携わっていただく予定です。

(活動例) 子ども司書新聞の作成、子ども司書ラジオ局やチャンネル(youtube等)の開設、おはなし会やビブリオバトル等の各種イベントの企画・運営 等

## お申込について

下記申込用紙を市生涯学習課に提出いただくか、  
右のHP内の申込フォームよりお申込ください。



----- ✂ ----- キリトリ線 ----- ✂ -----

ふりがな 名前		
学校名・学年	学校名:	学年: 年
住所	〒	
電話番号		
メールアドレス (保護者)		

## 高校生ビブリオバトル in こまつ 2022 の開催について

1. 趣 旨 読書活動を通して様々な分野への知的好奇心を高めるとともに、多様な価値観に触れながら思考力、表現力、聴く力等を身に付ける機会とする。
2. 主 催 小松市ビブリオバトル実行委員会
3. 日 時 令和4年8月3日（水） 9時30分～12時
4. 会 場 サイエンスヒルズこまつ 3Dスタジオ
5. 対 象 発表者 南加賀（小松市・加賀市・能美市・川北町）の高等学校、特別支援学校高等部に通学する生徒、南加賀に在住し他市町の高等学校・特別支援学校高等部に通学する生徒  
観戦者 興味ある方はどなたでも
6. 定員等 発表者 10名程度  
観戦者 40名程度  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数を制限した事前申込制とする。  
申込期間 7月20日（水）まで（先着順にて定員に達し次第、締め切り）
7. 内 容
  - ・発表者が読んでおもしろいと思った本を一人5分間で紹介する。
  - ・他の発表者、観戦者と3分間の質疑応答を行う。
  - ・発表者・観戦者全員による投票でチャンプ本(最も読みたい本)を決定する。
  - ・開催にあたっては新型コロナウイルス感染拡大防止措置の徹底を行う。
8. 表 彰 優勝者1名を表彰する。

# ヒルズレポート

2022.5月



**SDGsを学ぼう** 日本では食べ残しや売れ残り等、食べられるのに捨てられてしまう食品量は年間570万トン、毎日だと大型トラック（10トン車）約1,560台分と言われています。

ヒルズでは「食品ロス」をテーマに、企業・大学・外部講師・専門機関等の協力を得て、「食品廃棄を減らすために、大切な食べ物を無駄なく食べきり、環境面や家計面にも優しい取組」の術や知識を深めていきます。

## 「教えて湊博士！加賀野菜の魅力ってなあに？」

最年少野菜ソムリエプロ 緒方 湊 先生

5/1は中学校3年生、最年少野菜ソムリエプロの緒方先生による講演が行われました。クイズや解説が織り交ぜられた、楽しくてとても役に立つ時間でした。小松市のトマト生産は北陸3県で1位だということや、サラダに適しているのは、ニンジンのお尻半分だということも知りました。（上半分はきんぴら煮物に適しているそうです。）江戸



時代、薩摩の国から持ち出し禁止であったサツマイモを「ちょんまげ」に隠し、金沢に持ち込んだ話も面白かったです。参加した多くの方が、気さくで明るい、若い野菜ソムリエの話に聞き入っていました。（156名参加）

連動企画・・・JA小松市による小松野菜の販売

## 「国立天文台望遠鏡キット工作&スターウォッチング」



5/8、国立天文台が監修した望遠鏡工作キットを使い、望遠鏡を制作しました。使い方をマスターし、スターウォッチングを行いました。

5月の満月はフラワームーンと呼ばれています。とてもきれいでした。

## 「花の色のひみつを探ってみよう！」

石川県立大学 中谷内 修 先生

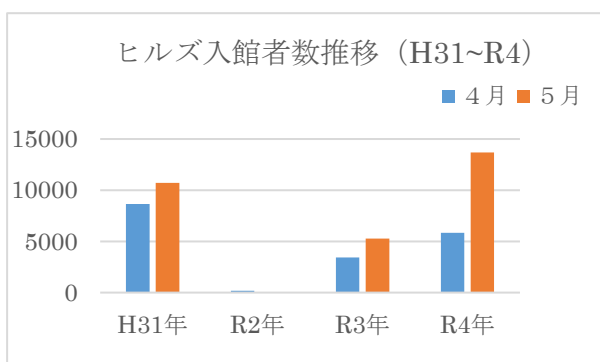


この時の子どもたちの目は輝いていました。花の色の秘密を調べるために、試薬を使ったり、ミキサーでよく混ぜたり、遠心分離機を使ったりしたのです。何か小さな科学者になったようで、とても興味を持って体験している様子が、子どもたちと一緒にきた家の

人にも伝わってきている感じがしました。家の人と一緒に子どもたちの学びをサポートしていました。いろいろなことを体験し、様々な道に進んでいく可能性を持った子どもたち、大きく羽ばたいてほしいと思います。

・・・<<< ヒルズ今月のデータ >>>・・・

◆入館者数



	R4 (前年比)	R3
有料入館者 5月	3,828人 (299,1%)	1,280人
累積	6,314人 (214,8%)	2,940人
全入館者 5月	13,685人 (259,6%)	5,272人
累積	19,510人 (223,6%)	8,724人

◆団体利用

	学校 団体	人数	一般 団体	人数
小松市内	5			
石川県内	7		1	
石川県外	3			
合計	15	746人	1	23人



◆3Dスタジオ

上映番組	回数	観覧者数
「ハナビリウム」	29	637人
「ポラリス」	12	468人
「銀河鉄道の夜」	32	593人
「ほしぞらトゥナイト」	6	62人
「宇宙一直線」	24	315人
「こぐま座のティオ」	10	423人
「水星トワイライト」他	3	120人
計	115	2,618人

◆サイエンステーブル (科学工作)

1日(日)	ローリングペーパー
7日(土)	くるくるシャボン玉
8日(日)	クラックビー玉キーホルダー
14日(土)	ストロー飛行機
15日(日)	ペットボトルキャップエコヨーヨー
21日(土)	吹きゴマ
22日(日)	矢八
28日(土)	トコトコスニーカー
29日(日)	あっち、こっち、お散歩

◆スターウォッチング

5/3、4 見えるか?月とすばる・・・と水星

5/8 見えるか?月面 LOVE&X 計60人

◆体験教室

	教室数	定員	参加人数	参加率
館主催	54	872人	796人	91,3%
外部講師	3	220人	175人	79,5%



◆わくわくホール利用

6件 26日	7,284人	テレビ金沢、こまつの美、 パナソニック、市役所町デザイン課 ハローワーク、天文宇宙検定
-----------	--------	---

